

～下記の研究を行います～

『がん性疼痛に対し、オキシコドン初期用量にて高度の傾眠に至ったが、ヒドロモルフォンへのスイッチングにより傾眠が改善した症例の病態解析』

【研究責任者】 ケアサポートチーム 専従医 相木 佐代

【研究の目的】 医療用麻薬をヒドロモルフォンに変更したことで、副作用である眠気が和らいだ経緯の原因と傾向について検討します。

【研究の期間】 研究許可日～2022年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2018年4月1日～2020年9月30日までの期間に、20歳以上で、何らかのがんと診断され、痛みに対して、オキシコドンが初期用量で開始された際に、強い眠気があった患者さんの中で、ケアサポートチームが介入し、ヒドロモルフォンに変更された患者さん

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：

なし

情報：

- ・年齢、性別、原発巣、転移部位、併存疾患、飲酒歴、ヒドロモルフォン投与開始1か月以内の検査値、オキシコドン投与の経路と投与量、ヒドロモルフォン投与の経路と投与量、痛みや眠気の強さなど

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 ケアサポートチーム 専従医 相木 佐代